



☆どうぞ自由にお持ち帰りください☆

新型コロナウイルス感染が収まらず、緊急事態宣言がつづいています。ワクチン接種を直前に控えて、今その話題で持ち切りです。皆さんが日頃、疑問に思っておられるところを取り上げました。

## 【テーマ】

1. 新型コロナウイルス感染症はインフルエンザ程度（ただの風邪）なのか？
2. 新型コロナウイルスワクチンは打った方がよいのか？
3. コロナ禍でどう生きていけばよいのか？

### 1. 新型コロナウイルスはインフルエンザ程度（ただの風邪）なのか？

全く違います。まず致死率が異なります。インフルエンザの致死率は0.02%~0.03%ですが、新型コロナウイルス感染症の致死率は日本で約1%（世界では約2%）です。致死率が50倍なのですから、大きな違いがあります。



さらに高齢者、心臓病、糖尿病や高血圧などの基礎疾患がある人は致死率が高くなります。また、インフルエンザにはタミフルなどの治療薬がありますが新型コロナウイルス感染症には現在のところ特効薬がありません。インフルエンザは症状が多くの人に出来ますので感染者を発見することは容易ですが、新型コロナウイルス感染症の40%~45%は軽症または無症状のため診断・隔離が困難です。軽症または無症状の感染者からウイルスがその接触者に次々と伝播していくのです。ここが新型コロナウイルス感染症の手強い最大の理由です。

インフルエンザは毎年1,200万人感染します。新型コロナウイルスが、1,200万人感染したら致死率が、1%ですから、12万人なくなります。すごい数字です（令和3年1月16日時点では感染者31.1万人、回復者23.4万人、死亡者4119人）。インフルエンザと新型コロナウイルス感染症は同じだと言っている人がいますが、現在の結果だけ見て言っているの数字を見ておらずインフルエンザがどういうものかもわかっていないのです。

### 2. 新型コロナウイルスワクチンは打った方がよいのか？

ワクチンを接種する目的は、自分自身を守ることと周りの人（社会全体）を守ることです。ワクチンを打って免疫がある人が増えれば増えるほど感染する率は減っていきます。これが集団免疫という考え方です。（次のページに続く）

新型コロナウイルス感染症の場合、60%~75%の人がワクチンを打てば流行は収束すると考えられています。

今回アメリカで接種が始まっている新型コロナウイルスワクチンの大規模臨床試験の結果が昨年末に最も権威のある医学雑誌に発表されました。その結果は驚愕するものでした。有効性は95%で、ワクチンを接種した人でコロナウイルス感染症にかかり重症化した人は、18,860人中たった1人(!) だったのです。

気になる副反応(副作用)は、接種部位の痛み、だるさ、頭痛、筋肉痛、関節痛などですが、救急車で運ばれるような重篤なものはほとんどありませんでした。アメリカの製薬会社が開発したワクチンですが、大変すぐれたものであります。

### 3. コロナ禍でどう生きていけばよいのか？

ワクチンがあるからといって好き放題やって良いということでは当然ありません。治療薬がありませんから、かからないということが大切です。3密(密閉・密集・密接)を避けるということ、咳エチケット、手指消毒を徹底することは変わりません。

厚生労働省が「感染リスクが高まる5つの場面」で注意喚起をしています。その中でも飲酒を伴う会食が最も注意すべきことです。マスクをしながら飲食はできません。お酒が入ると気分が高揚して注意力も低下します。周りの声に負けまいと自然と声も大きくなります。

ワクチン接種を全国民が受けて多くの人に集団免疫がつけば会食も再開できるかもしれませんが4ヶ月以上はかかるでしょう。大事なことは、



栄養と睡眠をしっかりとる / 手指衛生の徹底(アルコール消毒) / 咳エチケット / 3密を避ける  
体調不良の人と接触しない / 体調不良なら外出しない。仕事も休む / マスクを着用する  
十分な換気 / うがいは水で十分

こういう基本的なことを守ることです。自分の命は自分で守りましょう。

新型コロナウイルス感染症をワクチン接種によって予防できることが示されたことは、明るい知らせです。正しい情報を皆様に今後とも発信して行きたいと思えます。

#### <お近くのクリニックに通院していただけます>

厚生労働省は、病状が安定した方にはクリニックなど「かかりつけ医」での治療を推奨しております。「真生会まで遠くから来ている」「薬をもらうだけなのに待ち時間が長い」と通院にご負担を感じておられる方はお住まいの地域の医療機関にご紹介(逆紹介)させていただくことが可能です。真生会富山病院は地域の先生方と協力し「地域と連携する医療」を提供したいと考えております。逆紹介のご要望は主治医や近くのスタッフにお申し出ください。